

# 「浜益の地域資源増えた」

## 増毛山道の再生完了

### 喜びの声、登山会実施の動きも

【石狩】江戸末期に開かれた増毛山道(留萌管内増毛町別対一石狩市浜益区幌間、27㌔)の8年かけた再生作業が16日完了し、石狩市内の関係者から喜びの声が上がっている。

浜益区在住で、山道のササ刈りを中心的に担ってきたNPO法人「増毛山道の会」の渡辺千秋副会長(65)は「ササ刈りを始めた2008年当初は、ここまで完成できるとは思っていな

った。石狩市が人手を出し、全面的に協力してくれたおかげ」と話す。

8月末と10月上旬には、山頂付近でそれぞれ5泊6日のテント泊をしながら、作業の追い込みに励んだ。16日は渡辺さんが最後の仕上げを行った。開通した瞬間は「とても感慨深かったと同時に、終わったんだなと少しさみしくも感じた」と振り返る。

ササ刈りを支援してきた



増毛山道の再生作業が完了し、握手して喜び合う「増毛山道の会」のメンバーら(石狩市提供)

市企画課の上窪健一主任は「浜益の地域資源が一つ増えた。トレッキングツアーを開催するなどPRしていきたい」と力を込める。すでに地元の登山愛好家が登山会を行うなどの動きも始めている。

ただ、一般開放はされておらず、登山するには石狩森林管理署への届け出が必要。市は「安全のためにも個人では登らず、増毛山道の会の案内を受けてほしい」と呼び掛けている。

同会は体験トレッキングを年に数回実施している。問い合わせは同会事務局 ☎0164・56・0003へ。

(成田智加)